

上田市教育委員会 3月定例会会議録

1 日 時

令和3年3月16日（火） 午後3時00分から午後4時30分まで

2 場 所

上田駅前ビルパレオ5階 上田市教育委員会 第一会議室

3 出席者

○ 委 員

教 育 長	峯 村 秀 則
教育長職務代理者	北 沢 秀 雄
委 員	横 関 妙 子
委 員	綿 谷 憲 一
委 員	森 田 小 百 合

○ 説 明 員

中澤教育次長、池田教育参事、山賀教育総務課長、翠川教育施設整備室長、緑川学校教育課長、竜野生涯学習・文化財課長、西嶋人権同和教育政策幹、池田スポーツ推進課長、青木丸子地域教育事務所長、宮崎真田地域教育事務所長、樋口武石地域教育事務所長、深町丸子学校給食センター所長、小泉中央公民館長、唐澤川西公民館長、浅野上田図書館長、滝澤上田市立博物館長

1 あいさつ

本日は、上田市小中学校あり方検討委員会の正副委員長さんにおいでいただき、基本方針を伺うことになっている。

それでは、さっそくだが、上田市小中学校あり方検討委員会の桜井委員長、関副委員長にお願いしたい。

3 報告事項

(1) 上田市小中学校のあり方に関する基本方針について（教育総務課）

峯村教育長

それでは、ひとことお礼のごあいさつを申し上げたい。

桜井委員長、関副委員長、本日はお忙しい中、基本方針をまとめていただき大変感謝している。あり方検討委員会の皆さんは、平成31年から11回に及ぶ慎重審議をいただいてきた。正、副委員長をはじめ、平成29年度に設置した上田市小中学校あり方研究懇話会からお世話になっている委員の方も足掛け4年ご尽力いただいた。検討委員会では、目指す子ども像からはじまり、少子化に伴う学校の小規模化への対応を含む学びの環境という大変難しい内容について検討を重ねていただいた。学校の統廃合という言葉もでてくることから、委員会でご発言をしていただく際にも大変ご負担をおかけしたと思う。今後はこの基本方針について、市長部局と共有したうえで地域の皆さまに説明していくことになる。今後についてはこの基本方針にもあるとおり、地域の皆さまのご理解をいただいていくという姿勢を大切にして、教育委員会の責任でしっかりと取組んでまいりたいと考えている。この委員会をまとめていただき、方針を打ち出していただいた桜井委員長、関副委員長にお礼を申し上げる。誠にありがとうございました。

桜井委員長

ただ今、教育長の方に基本方針を提出させていただいた。まず、できた基本方針は、委員全員の総意でできていることをお伝えしたい。言葉の一つひとつから丁寧に吟味し、その目指す方向を委員全員で確認しながら、できた基本方針であることをお伝えしたいと思う。スタート地点ではいろいろな意見が混ざり合って大変な場面もあったが、回を重ねるごとに集まった議論でありお届けできることになった。思い起こせば、例えば、目指す子ども像・教育像では、将来育つ子どもたちが、上田市に住んで上田市で活躍してもらおう人材を育てるという面や、ふるさとを大事にする心をもちながら、世界全国で活躍する人材を育てるという面、どちらを求めようかというような議論をさせていただいた。あるいは、小中の環境のあり方、メリット、デメリットそのようなことも議論をさせていただいたが、最終的には今提出させていただいた表現で全員一致した。

懇話会では、例えば、「上田市としてどのような教育を」というように、「上田市」としてという言葉が多く書かれている。それをどのようにこの検討の中で落とし込めたかということ、例えば、他の市町村と違ったことをという意味ではなく、ユニークなことではなく、上田市にある人材、自然、環境、あるいは歴史、文化、これを直接子どもたちに手に触れ、耳に触れ、聞いてもらって、作ってもらって、その体験をすること、上田市にあるものを題材にして教育を展開することが上田市としてという言葉の答えだったというように私自身思う。最後に、学校とはということ考えた。特に、昨年度からのコロナ禍の中で一斉休校、そのような全国の流れの中で、逆に学校等という存在のことをあらためて感じさせられたということで、私の思いだがひと言で申し上げれば学校とは、単純だが子どもが集う、例えば、受験のために書いたり覚えたりする学力であれば、今ではデジタルコンテンツが発達していてすぐ手に入り、

どこでも自分でできるかもしれない。やはり、子どもと子どもがぶつかり合ったり、手を組んだり、一緒に泣いたり喜んだりすることは学校でしかできない。学校にはやはり適正な規模、学級にも適正な規模、全体の学校の大きさの規模もあるという意味で少子化を迎えている上田市でもいくつかの方策を考えていただかないとならない。その中で、統合再編ということも触れずにはいかない。学校の存在としては地域のランドマーク、地域の誇りとして大きな存在でもある。それを支えていただいている地域の方々、特に上田市では多いということは確認させていただいた。そうではあっても統合再編ということには触れないわけにはいけないという思いで載せさせていただいている。そういったことで、委員会の最後にそれぞれの委員が思いを語っていただいた中で、気負いすることなく教育環境整備に教育行政の責任として取り組んでもらいたいという発言が多くあったことをお伝えさせていただいて、委員会の報告とさせていただきます。

峯村教育長

大変ご丁寧な説明をいただいた。

それでは、教育委員からご意見をいただきたい。

北沢委員

私の方から一言、御礼のあいさつをさせていただく。平成29年度の小中学校のあり方懇話会の提言に基づいて、平成30年度からは上田市小中学校あり方検討委員会で丁寧な議論を重ねていただいた。敬意を表するとともに心から感謝を申し上げる。本日、基本方針が提出されたので熟読したいと思う。今後、総合教育会議の場等で市長部局とも情報を共にして推進していくと聞いている。教育委員会としてもこの課題としっかりと向き合い、取り組んでまいりたい。桜井委員長様、そして関副委員長様、委員の皆様、長きにわたり大変お疲れさまでした。本当にありがとうございました。

峯村教育長

大変、苦しい問題に真正面から向き合っていたいただいた。この後は、教育委員会の責任で進めさせていただく。その後、市長部局との相談でご検討いただいた内容をより早く、具体化していきたい。

2 協議事項

(1) 令和2年度(期末)及び令和3年度(当初)の重点目標及び教育行政評価について (教育総務課)

峯村教育長

進め方だが、令和2年度を反映させた段階で令和3年度について教育委員の皆さまからご質問をいただく。事前に資料は委員の皆さまにお送りさせていただいているので、説明は端的にお願いしたい。

○資料1により山賀教育総務課長説明(要旨)

資料1-1が令和2年度、資料1-3が令和3年度について、これから重点目標が5点あるので、その1点1シートずつ、2年度、3年度ということで説明をさせていただきたいと思う。

では、1つ目の重点項目「上田市教育支援プランの推進」から説明をさせていただく。

重点目標「上田市教育支援プラン」の推進

○資料1-1 令和2年度（1ページ）により緑川学校教育課長説明（要旨）

- ①取組項目の学力の定着向上は、期末の報告をご覧いただきたい。(1)①ユニバーサルデザイン化の視点を取り入れた公開授業を34回実施し、その成果を全小中学校に配信した。落ち着いた授業が展開され、教員の授業力の向上にもつながっている。(2)は、研修会、模擬授業など延べ85回の学校訪問を実施し、児童が楽しみながらMIMの学習を行い、学習意欲にもつながっている。
- ②(1)「SOSの出し方に関する教育の推進」、こちらは市内8中学校で実施した。(2)教育相談所及び特別支援教育担当による合同学校訪問を実施、児童生徒や保護者の情緒の安定や、登校につながる成果が得られたということである。
- ③教員のITC活用指導の向上は、(1)菅平小・中学校に児童生徒用のタブレットPCを整備する予定をしていたが、期末の報告のところではタブレットPCは品薄のため、整備が1月末に完了となった。そのため、機器の整備が遅れから活用や運用方法の調査が十分できなかったため、別の資料である授業評価で評価はCとしている。
- ④放課後児童対策の充実について、(1)特定天井の耐震化事業を行った。こちらは、神科児童クラブの天井改修工事を行った。(2)適正な利用児童数を維持するための施設整備は、活動スペースの拡充ということで、6館で154人増やすことができた。
- ⑤教員の働き方改革の推進は、(1)令和2年の12月時点の時間外勤務の平均が45時間を超える学校が21校という結果であったので、目標は達成できなかったため評価についてはCとさせていただいている。

○資料1-1 令和2年度（1ページ）により山賀教育総務課長説明（要旨）

- ⑥食育の推進・充実に向けた環境の整備について、期末報告(1)基本設計については、予定どおり年度内の予定である。まだ、わずかあるが年度内に完了する。(2)用地の取得については、地権者の同意を得て完了した。(3)食物アレルギー対応についてだが、検討委員会を設置して全体会議を3回、部会を8回開催し、基本マニュアルを策定した。
- ⑦小中学校のあり方の検討については、先ほど桜井委員長の方から基本方針の提出をいただいたが、今年度検討委員会を3回開催して、基本方針の策定を行った。

○資料1-3 令和3年度（1ページ）により緑川学校教育課長説明（要旨）

- ①確かな学力の育成ということで、こちらは支援プランの基本施策1になる。その中の支援策1の「自ら考え、課題を解決できる力を育む授業づくりの推進」ということで、具体的に(1)MIMの活用による「読み」の向上と①学力向上委員会の充実をあげている。
- ②として、確かな学力の育成（支援策2）ということでICTの活用について記載している。(1)①GIGAスクール構想に基づく機器の整備及び学校ネットワークの再構築、(1)②教員のICT活用指導力の向上をあげている。ICT支援員を増員し、タブレットPCの使用方法を支援し、教員のICT活用能力の向上を図ってまいりたい。
- ③基本施策4すべての子どもに寄り添う支援ということで、(1)①相談体制の整備による支援の強化ということで、児童生徒の早期発見、適切な支援のためチームとして支援体制を構築し

ていきたい。(2)①授業にユニバーサルデザイン化の推進ということで、こちらについても全校に広めていきたいと考えている。

○資料1-3 令和3年度(1ページ)により山賀教育総務課長説明(要旨)

④取組み内容として、学校給食施設の計画的な整備をあげている。(1)令和2年度に続いての事業としては、実施設計、造成工事、建設工事の業者選定を行っていく。(2)食物アレルギー対応の限定として、今年度策定する基本方針・対応マニュアルに基づいて、対応内容の具体化というものを研究してまいりたいと考えている(3)食物アレルギーの対応の基本方針や対応マニュアルの周知として、学校現場あるいは調理場職員、児童生徒の保護者向けに説明会を行ってまいりたいと考えている。

⑤小中学校のあり方の検討について、こちらは基本方針に沿って広く市民に周知をする、あるいは地域ごとに懇談の場を設けて今後の小中学校のあり方について地域での検討を進めてまいりたいと考えている。

峯村教育長

令和2年度のところは、教育委員さんは読んでいただいているので、令和3年度のところを説明していただきたい。

それでは、ただ今の説明について、教育委員の皆さんから質問等をお願いしたい。

森田委員

資料1-1、令和2年度の方で①学力の定着・向上、令和3年度では①確かな学力の育成で(1)②教員同士が自校の取組や課題を自由討論する場のところを、令和3年でますます強化すべきだと思う。令和2年のところでは年3回開催するというので、全体としての政策、企画のスケジュールを開催されているが、ICT活用をした授業の成り立ちということ、自由活発にテーマを先生方が作って、コミュニティを作ってスケジュールをするような情報交換等の体制づくりが急務だと思う。ICT支援員を増加されると思うが、あくまでも授業内容や教育の指導というのは先生方がプロフェッショナルなわけで、その内容をどのようにしていくのかという議論を深めていくには、先生同士の風通しのよさの中で自由活発に議論を交わしたり、取組を研究していくような体制作りが必要だと思う。それは、令和2年⑤の教員の働き方改革のところにも反映されていくことだと思うので、特に令和3年度の①(2)教員同士の課題を自由討論するというところの取組を、数値目標で今よりも推進していくことを強調していただきたい。

峯村教育長

ご意見としていただいておりますということによろしいか。

森田委員

一番言いたいことは、推進するということはもちろんだが、先生同士が計画を立てるなど、オンラインで集まりやすくなるわけだから、発起人の先生がいて、その課題テーマでみんながコミュニティや研究会を作る等、そういったことを推進できる体制作りをお願いしたい。

峯村教育長

緑川課長、参考にさせていただきたい。

緑川学校教育課長

了承。

綿谷委員

令和2年度の⑤の方には教員の働き方改革の推進と記載があるが、令和3年度の方には盛り込まれていない。盛り込まれていないことはないかもしれないが、45時間未満が15校、45時間超えが21校と半数以上がまだ達成できていないことであれば、もう少ししっかりとやっていただきたいと思います。その中で、子どもに寄り添う向かい合う教師の対応というものを求めると、先生方がいろいろな仕事の合理化を目指していただきながら、超過勤務を減らしていくことが大事なことだと思う。令和3年からスマートシティが始まっていく中では、ICT等を含めたいろいろな対応が必要になるのではないかと思います。そのようなICTに対しての取組というものに対しての目標管理というものは令和3年、教育委員会としてどのようにしていくのかそのあたりをお聞きしたい。

緑川学校教育課長

令和2年度のところを見ると、目標が達成できていなくて評価はCということであったが、令和3年のところでは記載がないということでご意見をいただいた。そちらについては、今日の協議事項のところでは協議にあがるところで説明をさせていただこうと思っていた。実は、働き方改革で教育委員会ができるところはある程度限られているのではないかと考えている。いろいろな例えば、会議を減らしたり、調査ものを減らしたりすることはかなり行っていて、そちらについてはある一定程度の成果は今上がってきていると思う。今年、令和2年度についてはICTの活用ではないが、公務支援システムというものを中学校11校と菅平小学校に入れさせていただいている。令和3年度で今予算をあげさせていただいているが、全小学校にあらたに入れさせていただこうと思っている。これによって市内36校全て公務支援システムが入るのでこれに慣れていただいて、学校の先生が使っていただくことで残業時間等が減っていくのではないかと考えている。もう1点、今年度中に整備を進めているが、留守番電話を4月から小中学校で入れさせていただきたいと考えている。必要のないということではないが、緊急ではないような電話については学校が留守番電話で対応するような形をとっていただく中で時間を縮減していただきたいと思います。公務支援システムは来年からだが、留守番電話が入るとある程度はこちらでできることは終了した。あとは学校の方で努力をしていただくということで、今回の重点目標からは目標は達成していないが外させていただいた。

横関委員

教育委員会ではできないことはないとおっしゃったが、スクールサポートスタッフや部活動指導員のソフト面で人的配置をすることもこれからまだコロナは続くので考えていただければと思う。そのほか、GIGAスクール構想について、地域の方や保護者の方はほとんど理解していない。ホームページに情報を載せていただいたが分かりにくいので、1枚の書面で上田市はGIGAスクール構想をこのように行っていくと明確に分かるようなものを学校で渡していただけたらと思う。もう1点、コロナがどのようにになっていくか分からない。海外でロックダウンが起きているようなことが可能性としては考えられる。子どももうつりやすいとも言われていて、子どもの集団感染も報告されている。ネット環境のない子どもたちが家で勉強ができるように考えていただきたい。オンライン授業もどのようにできるのか考えていただきたいと思う。

北沢委員

結論だけ言うが、2年度から3年度の項目が7から5に減ったことは賛成である。この方向でよいと思う。令和3年度の優先順位として①の(1)MIMの活用と(2)「分かる・できる授業」は、優先順位として入れ替えた方がよいと思う。昨年と同様でよい。令和3年度の①数値目標(2)の自校の授業改善を推進するとあるが、こちらはあいまいなので、括弧をしてユニバーサルデザイン化の視点、ICT活用の公開授業を記述したい。来年度、今年度同様にユニバーサルデザイン化、ICT活用の視点で授業を公開するという2つの視点で。もう1点は、⑤の小中学校のあり方の検討だが、数値目標で非常に気になることが2行目の「地域ごとに説明・懇談の場を設け」とあるが本当に場を設けられるのか。ここに明記してよいのか検討していただきたい。

峯村教育長

それでは、次のシート2ページに移りたいと思う。

重点目標 安全・安心な教育環境の整備

○資料1-1 令和2年度（2ページ）により翠川教育施設整備室長説明（要旨）

- ①は第五中学校の改築事業である。今年度の目標は配置計画や基本設計の一部を行うということで、期末報告にもあるように配置計画等を実施することができた。
- ②は学校施設の長寿命化計画の策定だが、予定どおり3月の公表に向けて策定が完了することができた。
- ③学校施設の適正な営繕の実施は、適正に実施することができたという評価である。

○資料1-3 令和3年度（2ページ）により翠川教育施設整備室長説明（要旨）

- ①は、引き続き第五中学校の改築事業、基本設計・実施設計に委託を着手することで、年度内に基本設計を終了して実施設計に着手したいという目標である。

②は、小中学校トイレ改修事業（国庫補助金事業）である。こちらは、国の3次補正の関係で、3月1日交付決定を受けて1億6,500万円の事業である。トイレの洋式化、床のドライ化等、トイレの環境整備に努めたいというものである。

③は、例年どおりの学校施設の適正な営繕の実施ということで、以上3項目にまとめている。

峯村教育長

安全・安心な教育環境の整備についてご意見等お願いしたい。

横関委員

こちらについてはAの評価を付けてもよいと思っている。まずは、当初目標は意見を聴取するということ、中学校の改築推進委員会を立ち上げて検討したということに高く評価したいと思う。中学を改築するときこのようなことが今までできなかった、していただけなかったという部分もあった。上田市教育委員会が子どもたちのことを考えて行ってくれたことは大変ありがたく、子どもたちの意見も聴いて下さり、本当に良かったと思う。この場をお借りして感謝を申し上げたい。今後もこのように行っていただきたいと思う。もう1つ、学校訪問へ行って思っていたことだが、特別教室にエアコンがなくて困っている学校があった。必要な場所にエアコンが追加設置されるよう、子どもたち先生方のために今後考えていただきたいと思う。

峯村教育長

ほかにはいかがか。

北沢委員

五中の設計に関して、他市町村を見るとどこの中学校へ行っても同じ雰囲気的设计の学校が見受けられるが、上田市の場合は横並びでなくてよい。学校ごとに地形も敷地面積も違うので同じような校舎にこだわらなくてもよいと思っている。五中には五中らしさ的设计があつてしかるべきだと思うのでお願いしたい。

峯村教育長

ほかにはいかがか。

翠川教育施設整備室長

先ほど横関委員さんから、五中の関係の自己評価をAというお話をいただいた。もともと目標設定がそのような方向で考えていたので、上手くいったが基本設計のところで若干遅れている部分もあるのでここはBという評価でお願いしたい。

横関委員

これからも学校を建てるときに、皆の意見を聴いていただける教育委員会であってほしいと思う。

○全員了承

峯村教育長

では、次のシートに移りたいと思う。

重点目標 文化遺産の保存・継承・活用

○資料1-1 令和2年度（3ページ）により竜野生涯学習・文化財課長説明（要旨）

- ①「上田市文化財保存活用地域計画」については記載のとおりで、計画等を行い、また委員会を開催した。
 - ②文化財の保存と活用については期末報告をご覧いただきたい。(1)国の有形文化財を2件登録したが、(2)①文化財 de 文化祭は中止。(2)③全国山城サミットについては一部あらたに行った部分もある。
 - ③史跡上田城跡整備事業の推進は、(1)専門家会議は書面決議になったが、予定に記載していなかったが、史跡測量図を作成した。
 - ④郷土の歴史、文化、偉人の業績等を知る機会の創出は、(1)ふるさと先人館の開館を行った。(3)信濃国分寺資料館で企画展を行った。また、予定にはなかったが今月末に八日堂図等の特別公開を実施する。
- ①から④については、予定したとおりできなかった部分もあるが、新たに加えた部分もあるということで評価はBとさせていただいた。

○資料1-3 令和3年度（3ページ）により竜野生涯学習課長説明（要旨）

- ①「上田市文化財保存活用地域計画」は、(1)計画案の作成と(2)策定委員会を2回開催する。
- ②文化財の保存と活用については(1)文化財の市指定・国登録の推進を行っていく。(2)①文化財 de 文化祭の実施（2回）、(2)②日本遺産ガイドの養成等を行う。(3)山城サミットについてはアフター大会を開催していきたい。
- ③史跡上田城跡整備事業については、(1)専門家会議を行い、保存活用計画策定に向けた協議を行う。
- ④郷土の歴史、文化、偉人の業績等の関係では、(1)「信州上田ふるさと先人館」の特別展示、(3)クジラ類化石の展示を行ってまいりたいと考えている。

峯村教育長

ただ今の説明についてご意見をお願いしたい。

横関委員

令和2年度の②中間報告(2)②のところ、日本遺産が6月に認定された事実と事業に着手したことが一緒になっているが、6月に認定されたことは別に記載した方が良いのではないかと。

峯村教育長

事実を記するということか。

横関委員

6月に認定されたと記載していただきたい。

峯村教育長

その点を切り離してお願いしたい。

竜野生涯学習課長

了承。

横関委員

それを踏まえてだが、資料1-2の12ページの当初目標(2)②・認定の場合と・落選の場合と記してあるが、こちらをみただけだと認定されたのかどうか分からない。認定されたというのをここに記した方がよいかと思う。そのあたりを検討していただきたい。

峯村教育長

表示方法を検討してほしい。ご意見としていただくことでお願いしたい。

竜野生涯学習課長

了承。

横関委員

了承。

北沢委員

資料1-3の②文化財の保存と活用の数値目標の(2)日本遺産文化財活用部会(ガイド養成講座・補充調査)こちらの2つだけでは今年度の内容から見てもの足りないと思う。ぜひ、各種事業という言葉が入るのかどうか検討していただきたい。

竜野生涯学習課長

了承。

峯村教育長

ほかにはいかがか。

○全員了承

重点目標 生涯学習の推進と学習環境の整備

○資料1-1 令和2年度(4ページ)により竜野生涯学習課長説明(要旨)

①上田自由大学運動等の顕彰による生涯学習推進は、2月にプレ大会を実施した。

②地域とともにある学校づくりの充実は、取組をホームページでの掲載やSDGsの理解を深める研修を行った。

○資料1-1 令和2年度（4ページ）により西嶋人権教育政策幹説明（要旨）

③人権同和教育・啓発の推進は、期末報告にあるコロナ禍により人を集めることができなかったため、それに代わる啓発事業ということでご覧のとおり事業を行った。

○資料1-1 令和2年度（4ページ）により竜野生涯学習課長説明（要旨）

④青少年の健やかな成長を支援する取組の充実について、(1)それぞれの体験活動、(2)ネット・スマホのリーフレットの発行、(3)県生涯学習推進センターとの共同事業等を行った。

以上、①から④については、それぞれできなかった部分があるが、新しく加わった部分もあるので全ての評価はBとさせていただく。

○資料1-1 令和2年度（4ページ）により小泉中央公民館長（要旨）

⑤公民館事業の充実について、(1)高齢者向け事業、(2)青少年向け事業とも前半はコロナの関係で自粛したことはあるが、後半では自粛に工夫を重ねて対応している。(3)情報発信の取組についても職員向け研修会を行い、新たな学習の機会を提供するよう研究を進めた。

○資料1-1 令和2年度（4ページ）により浅野図書館長（要旨）

⑥図書館サービスの充実は、(1)上田市読書活動推進計画の見直しについては、後日冊子を配らせていただくが今年の2月に計画を策定した。(2)職員の資質の向上については、資料記載のとおり研修会へ参加した。(3)貴重資料などの整備については、資料記載のとおり整備を行ってきた。

○資料1-3 令和3年度（4ページ）により竜野生涯学習課長説明（要旨）

①上田自由大学運動等の顕彰による生涯学習推進の関係だが、(1)9月に創設100周年記念シンポジウムを開催する予定である。

②地域とともにある学校づくりの充実については、(1)先進事例を交えた研修会、情報交換会の開催を行いたい。(2)取組等をホームページ等で紹介したいと考えている。

○資料1-3 令和3年度（4ページ）により西嶋人権教育政策幹説明（要旨）

③人権同和教育・啓発の推進は、(1)は国の委託事業を利用して学校と地域が連携した人権同和教育の在り方と取組について研究をする。(2)(3)それぞれ、コロナに関係なく進めていけるように検討してまいりたい。

○資料1-3 令和3年度（4ページ）により竜野生涯学習課長説明（要旨）

④青少年の健やかな成長を支援する取組の充実について、(1)地域の自然体験活動を3回、青少年の異年齢交流と自然体験活動を3回、(2)ネット・スマホのリーフレット等の発行、(3)研修会参加を実施してまいりたい。

○資料1-3 令和3年度（4ページ）により小泉中央公民館長（要旨）

⑤公民館事業の拡大について、(1)新型コロナウイルス感染対策に対応した新しい学習形態について、オンライン講座開催に向けた調査・研究を行う。(2)各分館における応援体制ということで必要な情報提供を行うと共に、相談窓口を公民館ごとに開設したいと思っている。(3)公民館事業の情報発信ということで、引き続き勉強会、情報交換の研修会を行っていく。(4)公民館の使用料の減免基準の見直し、冷暖房費徴収についての検討を行っていき今年度中に結論を出していきたいと思う。

○資料1-3 令和3年度（4ページ）により浅野図書館長（要旨）

⑥図書館サービスの充実は、(1)資料収集方針の明確化と情報共有については、各図書館の資料収集をする際の内規を作成するという事、また将来に向けた蔵書の考え方について検討したいというものである。(2)インターネットを活用したサービスの提供は、コロナ禍において予約などができるWebサービスの利用登録の促進、図書館からの情報発信の強化を図りたい。(3)職員の資質向上については利用者サービス向上のため、引き続き専門的な知識を習得し、活用を図りたい。

峯村教育長

委員の皆さまからご意見等お願いしたい。

森田委員

②の地域とともにある学校づくりの充実(1)地域ぐるみで学校を支えていく「仕組み作り」の推進とあるが、数値目標にある(1)先進事例を交えた研修会、情報交換会の開催と記されているが、具体的な仕組みづくりは直積的なものが見えてこないと思う。仕組みづくりは実際にアクションで動けるような事が仕組み作りなので、こちらだと単なる勉強会になってしまう。今の具体的な計画があればそれを掲げていただきたいと思う。(2)学校支援ボランティア活動の推進はホームページで紹介するだけなのか。何か具体的にそのようなところとつなげていけるような仕組みづくりというものがあれば教えていただきたい。

峯村教育長

1つ目はご意見として伺って、2つ目は竜野課長お願いしたい。

竜野生涯学習課長

そういったものについては、市の情報誌、YAっHOー！等の方で活用し発行していきたいと思っている。

森田委員

そのようなところやホームページに掲載されるだけで、直接問題を意識や課題をもっている人がつながる、自分から参加していくというような動き方がなかなかできないと思う。そこをつなげてあげられるような仕組みづくりというものが非常に課題だと思う。不登校、見守り等

は地域の方々のサポートなしではできないと思うので、具体的なアクションにつながる取組をお願いしたい。

竜野生涯学習課長

2年度事業の終わりだが、ボランティア募集のリーフレットがちょうど刷り上がるころである。そこに具体的にボランティアの取組や内容を掲載している。2年度事業は終わってしまったのでお伝えできなかったがそのようなことを考えている。

北沢委員

令和3年度の⑤公民館事業の(1)新型コロナウイルス対策に対応した新しい学習計画については大変よい方向だと思う。そこで要望だが、数値目標にオンライン講座開催とあるが、口頭説明ではオンライン講座等と説明をいただいた。オンライン講座に限らず、幅広く調査・研究を行っていただきたい。説明にあったとおり「等」を入れていただきたい。

横関委員

⑤の公民館事業の拡大というと、事業を広くすることだと思う。今までどおり公民館事業の充実でよい気もするが検討いただければと思う。内容だが、(1)(2)(3)ともに新しい取組が記載されていて、公民館相互、皆さんで話し合っ、これだけの良く考えた数値目標を出してこられたのだろうと感じる。普段市民の近くにおいて、市民がどんなことに困っているのだろうと、市民目線に立って計画をしていただいたのだろうと思う。

他の取組でもそうだが、前例踏襲ではなく考えるということ。コロナはまだ続く。これから文化財de文化祭もできるのか分からない。そのようなときに何ができるのか、どのようなことを考え行わなくてはいけないのか。やはり市民目線になって、コロナ対応をしながらできることを考えていただきたい。

峯村教育長

拡大か充実か検討していただきたい。

ほかにはいかがか。

○全員了承

重点目標 生涯スポーツ活動の推進とスポーツ環境の整備

○資料1-1（令和2年度 5ページ）により池田スポーツ推進課長（要旨）

- ①第二次上田市スポーツ推進計画の策定は2月に策定した。
- ②上田市スポーツ施設整備に基づく施設整備の推進について、(1)自然運動公園総合体育館はアスベストの関係から工期が令和3年9月に延期となった。(2)新テニスコートの整備については、予定より若干早い感じで進んでいる。(3)施設の修繕は予定どおり実施した。
- ③生涯スポーツ振興、競技力向上、人材育成とスポーツを支える地域づくりは、新型コロナウイルスの関係でほとんどのイベントや大会が中止となって目標を大幅に下回った。しかし、

数値目標の(1)のいちばん下の「・」だが、動画でみる運動を撮影してホームページから見られるようになっている。

○資料1-3（令和3年度 5ページ）により池田スポーツ推進課長（要旨）

- ①生涯スポーツの振興と競技力の向上ということで、数値目標は(1)各種スポーツ大会を20回、(2)子どもたちの運動のところでは、あらたに「夢の教室」事業と「ボールゲームフェスタ」を開催する。(3)障がい者スポーツについては「あすチャレ！」という日本財団のパラリンサポートセンターが行っている事業を実施する。(4)全国大会等出場奨励金の交付である。
- ②上田市スポーツ施設整備計画に基づく施設整備の推進では、(1)新テニスコートの用地買収、(2)新テニスコート設計に向けた関係団体との協議、(4)新体育館は、実施計画や項目だけ登載になってきているので庁内検討会議の開催を行う。
- ③スポーツを通じた地域づくりと交流拡大については、(1)それぞれ総合型スポーツクラブとの連携事業、(2)「みる」スポーツ開催等支援を数値目標に設定している。

峯村教育長

生涯スポーツ活動の推進とスポーツ環境の整備についてご意見等お願いしたい。

横関委員

資料1-2、事業評価シート22ページだが、今後の展開で令和10年の長野国体とあるが、国民スポーツ大会でなはいか。

池田スポーツ推進課長

10年の段階では国民スポーツ大会になっているので訂正させていただく。

横関委員

お願いしたい。

同時に、全国障がい者スポーツ大会もあるので、そちらも記載された方がよろしいかと思う。

北沢委員

資料1-3（令和3年度）の②(4)新体育館の整備に向けた検討の数値目標は、検討会議の開催と上の(1)(2)(3)が具体的に記されているが、体育館はいつになっても建設推進があいまいである。もう少し具体的ににならないか検討していただきたい。

池田スポーツ推進課長

私たちがもそのようにしたいと思っているが、さまざまなタイミングというものがあり現段階ではここまでか、もう少しだけ踏み込めるのか、という状況なので検討させていただきたい。

峯村教育長

それでは、次に移りたいと思う。

○全員了承

(2) 上田市学校給食における食物アレルギー対応の基本方針及び対応マニュアルについて
(教育総務課)

○資料2により山賀教育総務課長説明(要旨)

資料2-1で概要版の説明、資料2-2が基本方針、資料2-3がそれに基づく具体的な対応マニュアルということで資料をお配りしている。本日、カラー刷りでお手元に上田市の小中学校アレルギー状況の資料をお配りした。そちらをもちながら説明をさせていただく。

現在の上田市アレルギー対応だが国の方針などがあり、調理場ごと学校ごとの対応となっていたところ、今般、基本方針とマニュアルをすることにより、市として今後一定のルールに基づいて学校においては組織的な対応ができることになるのではないかと効果を考えている。現在、給食のアレルギーの対応状況だが、今日、カラーのものをお配りしたが、概要版のところに現在2.8%、338人のお子さんが食物アレルギーだということを示したが、詳細のものをカラー刷りでお示ししている。1ページの2番になるが、アレルギーのお子さんは減っていてもアレルギーの管理指導表を出しているお子さんが増えている状況である。2ページでは、アレルギーは成長とともに出てくるものもあるが、一般的にはアレルギーがだんだん軽減されていくと医学的には言われているが、どうも上田市の場合はそのような状況になっていないということが3番のところ棒グラフにある。3ページでは食品名を記載しているが、過去3年間を調査して実にこれだけの食品をアレルギーだといって出されているような状況で、給食の調理場では、また学校ごとでも大変困難な対応になっているという状況が、この小中学校の実態ということで見ていただきたいと考えている。こういったことを基本方針とマニュアルを用いて、もちろん保護者に十分丁寧に説明をしながら、また検討委員会では校長先生にお入りいただきながら、子どもの年齢に応じたアレルギー対応も大事だろうということで、そのあたりも学校ごとに検討委員会を設けていただいて、組織的な対応をお願いしたいと考えている。

最後に1点、第二学校給食センターができるので、そこでのアレルギー対応については資料2-1の概要版の8のところに記載をさせていただいている。給食センターの中では専用の調理室、専用の容器の導入、ハード的に整えていく計画になっている。職員の方も専門の職員の配置を考えているが、現在いる調理員についても先行してアレルギー対応食を実施している給食センター等への派遣、実地研修なども行って給食センター稼働後、また可能な範囲となるが、アレルギー対応食が出していけるように給食センターとも協力をして取組んでまいりたいと考えている。

峯村教育長

ご質問がたくさんあると思うが、ご意見に絞って進めさせていただいてよいか。
アレルギー対応についてご意見をお願いしたい。

北沢委員

内容の重複があるのでよく吟味したい。もう1つ、表記の仕方だが、公用文の表記に従って記していただきたい。例えば、「かかわる」という表記は漢字で記す場合もあるが、「関する」は漢字、「かかわる」はひらがなで記すのがよいと思う。「校長」と「学校長」があるが「校長」で統一すべき。他の資料等から引用した場合は、必ず後ろに括弧書き等で出典を入れていただきたい。給食会なのか、文科省で示されているものなのか、上田市教育委員会が作ったものなのか読んでいて分かりにくい。

峯村教育長

表記については検討していただきたい。

横関委員

資料2-3、食物アレルギー対応マニュアルの33ページの上から4行目のエの2番目の「・」について、「学校給食センター受配校については保護者から学校給食センターへの連絡は求められません。対応食は取り違え等の事故予防のため提供します」と記載があるが、こちらの意味が分からない。そのほか、緊急時の対応に関してだが、コロナ禍の心肺蘇生で人工呼吸をしてもよいか、このあたりも確認していただきたい。大人の場合は行わないとなっているが、子どもの場合は行ってもよいとなっていると思う。もう一度確認していただきたい。

峯村教育長

確認を検討していただきたい。

山賀教育総務課長

了承。

峯村教育長

ほかにはいかがか。
よろしいか。

○全員了承

(3) 「学校における働き方改革推進のための基本方針」について（学校教育課）

○資料3により緑川学校教育課長説明（要旨）

学校における働き方改革推進のための基本方針について、この基本方針は別紙として結果と来年度の目標、また学校の閉庁日について記載がしてあり、毎年度更新の必要があるものである。まず、令和2年度の結果については、①教員の時間外勤務が、年間を通して45時間以下の学校が結果として15校として目標達成にはならなかった。②③④については目標を達成した。

次に令和3年度についての目標は、①として、月の45時間以下の時間外勤務を全校目指すこと。②③については、昨年と同様に会議と調査について、現状維持、もしくは削減を目指していきたいと考えている。先ほどの時間外勤務の削減方法だが、公務支援システムの導入と留守番電話を入れることで時間外の削減をしてみたいと考えている。

(2) 学校の閉庁日については、令和3年8月10日から16日までの7日間としたいと考えている。

峯村教育長

ただ今の説明についてご意見を頂戴したい。
よろしいか。

○全員了承

(4) 放課後児童健全育成事業運営費補助金要綱の一部改正について (学校教育課)

○資料4により緑川学校教育課長説明 (要旨)

1 改正理由

本要綱は、放課後児童健全育成事業を行っている民間事業者に対しての運営費の補助を行うための要綱である。改正内容は本要綱の補助要綱や限度額のもととなっている国の補助要綱が改正されたため、当該部分を改正するものである。

2 主な改正点

(1)経常的経費に対する補助金額の増額、(2)障害児を受け入れるために職員をあらたに雇用するための経費に対する補助金額の増額であり、それぞれ改正後の金額にしたいものである。

3 施行期日

令和3年4月1日からとしたい。

峯村教育長

補助金交付要綱の一部改正についてご意見をお願いしたい。
よろしいか。

○全員了承

(5) 学校評議員の廃止について (学校教育課)

○資料5により緑川学校教育課長説明 (要旨)

学校評議員については今年度23校が廃止された。来年度は資料記載のとおり、以下の8校が学校評議員の廃止の要件を満たしたため、廃止希望申請書の提出があったので今回教育委員会の承認をいただきたいものである。

峯村教育長

学校評議員の廃止について、ご意見をお願いしたい。
よろしいか。

○全員了承

(6) 浦里小学校運営協議会委員の任命 (学校教育課)

○資料6により緑川学校教育課長説明 (要旨)

資料6をお願いしたい。浦里小学校学校運営協議会の委員の任命については規則により次のとおり任命したいものである。委員の任期は1年で教育委員会が任命することになっているので今回お返りする。また、資料の裏面には、川西小学校も併せての委員さんの任命もお願いしたい。

峯村教育長

浦里小学校と川西小学校の運営協議会委員の任命についていかがだろうか。
ご意見がなければこのとおり任命させていただく。
よろしいか。

○全員了承

(7) 上田市文化財保護審議会委員の委嘱について（生涯学習・文化財課）

○資料7により竜野生涯・文化財課長説明（要旨）

今回は2年任期の委嘱である。内訳は資料記載のとおりである。ポイントとして、平成30年度に策定した歴史文化基本構想と現在策定を進めている文化財保存活用地域計画の継続性を確保したいということではほぼ同じメンバーでお願いしたいというように考えている。

峯村教育長

こちらの7人について委嘱をさせていただいてよろしいか。

○全員了承

(8) 上田市図書館協議会委員委嘱について（上田図書館）

○資料8により浅野上田市立図書館長説明（要旨）

委員数については8名、任期は令和3年から4年の2年間になる。今回、団体推薦の中であらたにお願いする団体が2つある。塩川お話の会とNPO法人上田図書館倶楽部である。こちらについては上田市内の地域柄を考慮しながら、新市になってこれまで推薦依頼をしていない団体を選びお願いをすることになった。個人依頼については全て継続の方であるが、公募の委員さんが1名いらっしゃる。この方は情報ライブラリーの実験室や上田図書館の研究会等、所属されている方で図書館に大変関わっている方である。これらの皆さんを委嘱してまいりたいと思うのでお願いしたい。

峯村教育長

今、説明があった8名を図書館協議会の委員に委嘱してよろしいか。

○全員了承

(9) 上田市博物館協議会委員の委嘱について（市立博物館）

○資料9により滝澤市立博物館長説明（要旨）

選出団体の依頼の方と個人依頼の依頼がある。個人依頼は寺島隆史さん、元博物館館長だが、専門家をお願いするという点からこういった人材でお願いできればと思う。

峯村教育長

ご覧の10名に上田市博物館協議会委員を委嘱してよろしいか。

○全員了承

3 報告事項

(2) 生涯学習シンポジウム事業報告について（生涯学習・文化財課）

○資料11により竜野生涯学習課長説明（要旨）

2月28日（日）に生涯学習シンポジウムを行った。こちらについて、資料のアンケート結果にあるように大変よいということで評価をいただいた。なお、この催しについては一旦ケーブルビジョンで放送いただいたが、現在上田市のホームページやYouTubeで約1時間半

だご覧いただけるようになっている。令和3年度については先ほどお話したとおり9月11日（土）に上田（信濃）自由大学創設100周年を記念するシンポジウムを行う予定である。

峯村教育長

ただ今の報告についてご意見をお願いしたい。

○全員了承

(3)令和2年度「子どものスマホ・ネットあんしん利用啓発リーフレット」について (生涯学習・文化財課)

○資料12により小泉中央公民館長説明（要旨）

資料に添付したパンフレットもご覧いただければと思うが概要について説明をする。目的については小中学校へお配りする。リーフレットの内容についての特徴的な部分については抜粋している。中面にあるワークシートについては、昨年から掲載して非常に好評だったことから、親子で話し合いながら子どもを中心にルール作りをしていきたいと思いますと提案している。最後のところでは、神川小学校、あるいは丸子中学校で取り組まれている事例を掲載させていただいている。

峯村教育長

毎年配布しているリーフレットについてご意見をお願いしたい。

横関委員

ずいぶん前に配られたリーフレットには、スマホ・ネットがどのように生活に影響を与えるのかが詳しく記されているものもあった。要望としては、スマホが脳を疲労させてしまうことや、記憶力を低下させること等、養護教諭、教育委員会がなぜいけないのかというようなことを伝えていただきたいと思う。

峯村教育長

ほかにはいかがか。

よろしいか。

○全員了承

(4)武石公民館の開館について（武石公民館）

○資料13により樋口武石地域教育事務所長説明（要旨）

今度新しくできる武石地域総合センターへ老朽化した自治センター、公民館、健康センターを複合したものだが、その中の一部に入る予定となっている。資料を開いて左側のページをご覧いただきたい。武石公民館は庁舎2階の⑤黄色で示されているところが公民館の事務所になっている。色違いで黄緑色の部分が公民館の貸室になっている。また、紫色で示されている⑭図書室、⑮学習室ということで公民館の関係の部屋になっている。右側のページの写真は公民館関係のものは調理実習室とは左下の図書室・学習室になる。右上から2番目のコミュニティホールだが、旧武石公民館のコミュニティホールをそのまま解体せずに残しており、天井は釣り天井だったので建築法に問題があるというところで照明と空調を更新している。最後のページをご覧いただきたい。武石財産区から材を提供していただき、ふんだんに木を使っている。

また、コミュニティホールの屋根には太陽光発電システム、これは20kWのものだが、省エネ・温室ガス排出量の削減を目指している。教育委員の皆さまには3月29日（月）の早朝が開所式を行いたい。その際、開所の後だが施設の中の方をご覧いただきたい。

峯村教育長

当日、中をご覧いただきたいと思うが、樋口所長、委員の皆さまへご案内はされているのか。

樋口武石地域教育事務所長

案内は届いていると思う。

峯村教育長

それではよろしいか。

○全員了承

（5）スポーツ関係市長表敬訪問について（スポーツ推進課）【説明なし】

○資料14

（6）寄付の状況について（生涯学習・文化財課）【説明なし】

○資料15

（7）行事共催等申請状況について（生涯学習・文化財課）【説明なし】

○資料16

（8）子ども情報誌「YAっHO-！」69号（生涯学習・文化財課）【説明なし】

○資料17

（9）令和2年度上田市学校等人権同和教育の実践（生涯学習・文化財課）【説明なし】

○資料18

（10）いのち・愛・人権作品集 第15集（生涯学習・文化財課）【説明なし】

○資料19

（11）ヒューマン上田 No33（生涯学習・文化財課）【説明なし】

○資料20

（12）公民館だより（各公民館）【説明なし】

○資料21

峯村教育長

続いて、（5）から（12）まで説明はない。なお、（12）公民館だよりは、前回は日程によりでお渡しできないものもあった。ご了承いただきたい。

（5）から（12）までご意見があればお出しいただきたい。
よろしいか。

○全員了承

4 その他

○資料その他 国登録有形文化財の登録について

竜野生涯学習課長により説明（要旨）

こちらについては、先ほど重点目標管理シートで申請中とあったが、つい先ごろ、国から申請中から登録になるという内示があった。資料の上の方に説明があるが、3行目に訂正がある。登録有形の件数は14カ所43件でよろしいが、文化財総数は304件ではなく305件となるので訂正をお願いしたい。もう一箇所お願いだが、こちらの報道を3月19日（金）に文部科学省からプレス発表されるということなのでそれまでは取扱いについて注意をお願いしたい。

今回は、上塩尻にある佐藤家住宅（三ツ引）である。資料の裏面に地図と写真が掲載されている。いちばんの特長はこれだけの施設が1箇所に残っていることは全国的にも珍しいということから今回登録に至った。

峯村教育長

全体をとおしてほかにはいかがか。

国の登録有形文化財の管理費というものは国からももちろんくるわけなのか。

竜野生涯学習課長

個人のものについては、維持は個人がもち、修理をする場合には3/10の補助がある。基本的には個人である。

峯村教育長

登録文化財が増えれば増えるほど市の負担は多くなるのか。

竜野生涯学習課長

修繕等行わなければ特に増えることはないが、個人が修理したときには当然あるが、申請にあたってはその都度増える形である。

北沢委員

資料を興味深く読ませていただいた。新聞メディア、テレビメディア、UCVのメディア等、周知の方向でお願いしたい。

○全員了承

○その他 第二次上田市子ども読書活動推進計画について

浅野上田市立図書館長説明（要旨）

こちらを追加した。第二次上田市子ども読書活動推進計画について計画を策定したので冊子を配布させていただいた。今年の1月の定例教育委員会において、いただいたご意見があり、冊子の1ページの中段においては新型コロナウイルス感染者の記述を加えたほか、同じページの下段に計画の基本理念として計画の実施を目指す姿を位置付けている。また、6ページの中段には図書使用の充実ということで、電子メディア等を活用したあらたな読書活用の研究についても加えたところである。来年度よりこの計画に基づき、教育委員会のご意見をいただきながら、取組を進めてまいりたいと思うのでお願いしたい。

横関委員

こちらの意見も取り入れていただき感謝している。また、この基本理念に沿ってみんながこれを活用してできるような形で広報していただきたいと思う。

峯村教育長

ほかにはよろしいか。

では、全体をとおしてよろしいか。

ここで、3月末をもって退職される皆さんに、ごあいさつをお願いします。

それでは以上をもって3月の定例会を終了する。

退職者

あいさつ

峯村教育長

それでは以上をもって3月の定例会を終了する。

閉 会

教育委員会会議規則第 21 条の規定により署名する。
